

ウメボシイソギンチャク (天神島臨海自然教育園)

ウメボシイソギンチャクは潮間帯の高い位置の岩に付着して生活する小型のイソギンチャクのなかまです。潮が引いて干出すると触手を縮め、丸くて赤い「梅干し」のような姿になることから名がつけました。神奈川県内では真鶴半島に生息するウメボシイソギンチャクが神奈川県天然記念物に指定されているほか、数か所の生息地が知られています。天神島では以前からしばしば観察されるものの、なかなか定着せずに姿を消してしまっていました。しかし、ここ数年は島の西側の磯の大きな岩の下面で数を増やしています。



触手を開いたウメボシイソギンチャク

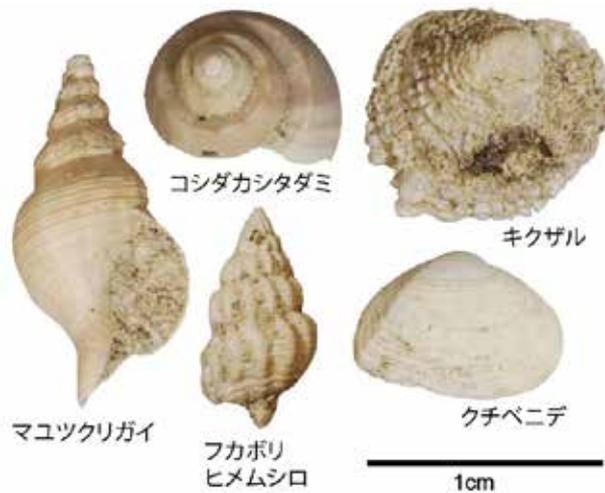


触手を閉じたウメボシイソギンチャク

馬堀自然教育園の化石 (馬堀自然教育園)

馬堀自然教育園の約15万年前の地層からは、70種の貝化石が見つかります。そのほとんどは現生種です。化石は2箇所から見つかり、標高約35mの化石産地からは水深0～20mに生息する貝の化石が、標高約

38mの化石産地からは水深60～100mに生息する貝の化石が多く見つかりました。標高約35mから38mの地層は浅い海でつくられ、標高約38mの地層のほうがより深い環境でつくられたと考えられます。化石は馬堀自然教育園が横須賀市の天然記念物に指定される前に採集しました。



自然教育園だより

横須賀市自然・人文博物館付属 馬堀自然教育園 / 天神島臨海自然教育園

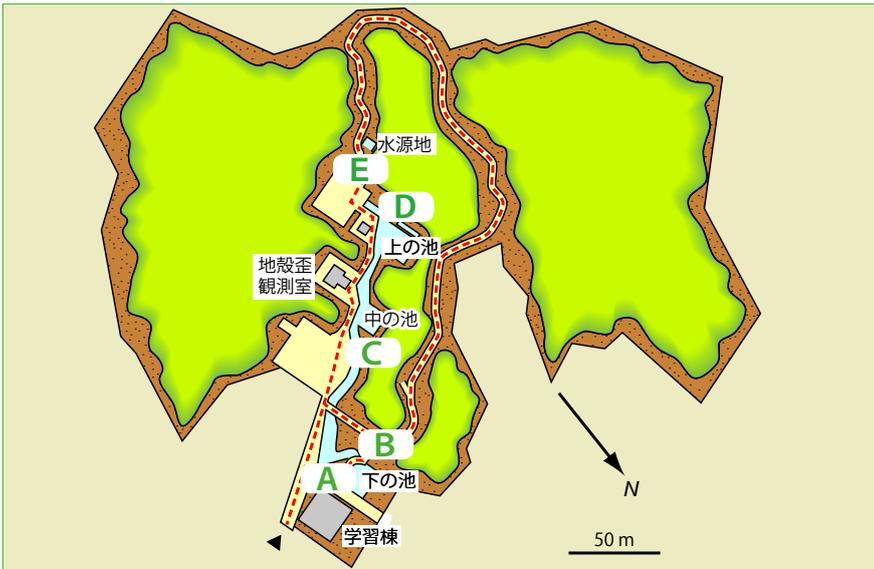
Vol.10 No.1

(2017年春号)

2017年3月28日発行
横須賀市自然・人文博物館
046-824-3688

馬堀のみどころ (3~6月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



写真下の括弧内には撮影した月と場所（地図中のポイントと対応）を示しています。観察の目安にしてください。



フキ (3月, A)



ヤブレガサ (6月, E)



アカハライモリ (6月, D)



ウラシマソウ (3月, B)



ジャコウアゲハ終齢幼虫 (6月, C)



アサヒナカワトンボ羽化直後 (5月, D)



アミガサタケ (4月, E)



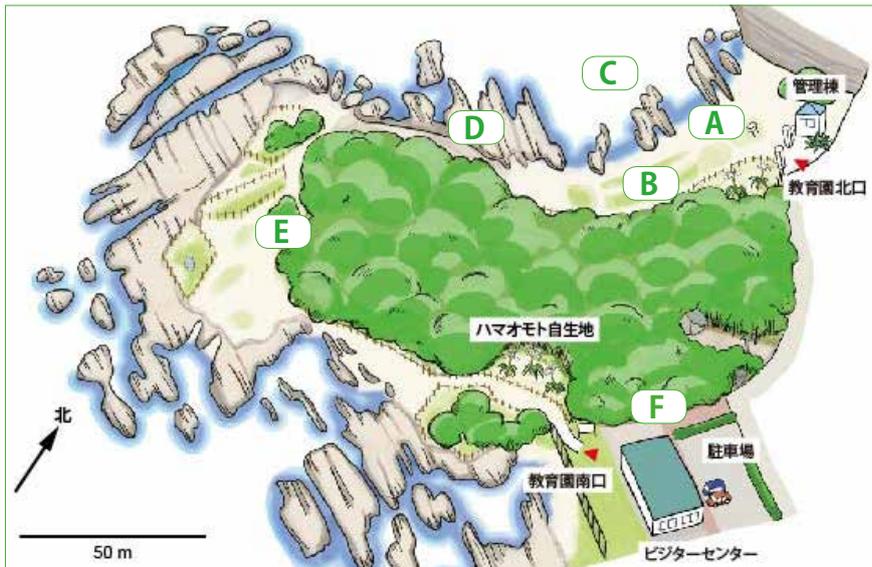
ニワトコ (4月, C)



キアシドクガ (4月, A)

天神島のみどころ (3~6月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



ウバタムシ (5月, D)



マルバシャリンバイ (5月, F)



コゲラ (3月, E)



ラミーカミキリ (6月, E)



ナガメの成虫 (左) と卵 (右) (4月, B)



チュウシャクシギ (4月, C)



コチドリ (4月, A)



オオセグロカモメ (3月, A)



タコノマクラ (4月, C)

自然教育園のできごと

天神島臨海自然教育園の避難訓練

平成29年2月23日(木)、天神島臨海自然教育園及びビジターセンター内で避難訓練を実施しました。南海トラフ巨大地震が発生し、最大波高6mの津波が発災約30分後に到達する状況を想定して行われました。隣接する佐島マリーナにもご協力いただきました。職員が来園者を連れ佐島マリーナの高台まで誘導し、博物館本館に避難した人数を伝えました。悪天候の中でしたが、訓練実施スケジュールに沿って無事全ての行程を終えることが出来ました。



避難訓練の様子。上：教育園内、下：佐島マリーナ

冬でも見られる天神島の生き物

まだ寒い日もありますが、冬の磯でも生き物観察が出来ます。干潮時の磯の岩の隙間にはウメボシイソギンチャクが群らがっています。望遠鏡で笠島を見れば、一年を通して見られるウミネコやアオサギの他、冬にしか見られないウミアイサの群れやミサゴが見つかる時もあります。2月下旬、ハマダイコンの花が咲き始め、いよいよ春の訪れを感じます。



ウメボシイソギンチャク



ウミアイサの群れ

馬堀自然教育園で雑木等の除去をしました

開園以来60年近く自然環境の保全と植生の保護を行っている園内の山林ですが、その一方で、大きくなりすぎた木が倒れたり、枝や若木がフェンスを圧迫したり、繁殖力の強い木があちこちに育ち林内をいっそう暗くしてしまったりする問題も起きています。

大木の処理は専門の業者にお任せしていますが、この冬はフェンス周りの枝と若木の除去や、林内のあちこちに増えてしまったアオキ・ヤツデ・シュロ・フジの一部除去を自前で実施することにしました。

自然系学芸員4人で園内のすみずみを歩き回って、フェンスが圧迫されていないか、除去できる木はないか、探してはその場で枝打ちや刈り取りを行いました。

普段なかなか歩かない場所には、足を滑らせたらか大ケガしそうな急斜面もあったりするのですが、「こんなところに地層がきれいに見える場所があった!」とか、「木々に囲まれて立派な桜の木が隠れていた!」など思いがけない収穫もありました。



剪定ばさみやのこぎりを使って雑木等を除去しました

横須賀市自然・人文博物館と付属自然教育園のお問合せ

博物館(本館)： 横須賀市深田台95 電話046(824)3688 Fax.046(824)3658

天神島臨海自然教育園： 横須賀市佐島3-7-2 電話(Fax.)046(856)0717

馬堀自然教育園： 横須賀市馬堀4-10-3 電話(Fax.)046(841)5727

◎博物館や教育園の情報は下記ホームページでもご覧いただけます
<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>



博物館ホームページ